

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-44	中学校	道徳科	道徳	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 038-92	中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき		

▶ 1. 編修の基本方針

よりよい未来の創造に向け 変革を起こす力を育むために

人格の完成を旨とする教育基本法に基づき、
これからの学校には、一人一人の生徒が、

- ・ 自分のよさや可能性を認める
- ・ あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
- ・ 多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越える
- ・ 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

ことができるようになる教育が求められています。

私たちは、これらを実現するために、次の三つを大切に
教科書を編修しました。



ポイント

1

主体的な学び手を 育てる

...

主体的な学び手を育てるため、1年間の初めに道徳科は何を学ぶ教科なのかを自覚し、自分なりの学びの目標がもてるようにしました。また、学年末には、1年間道徳科で学んだことが、自分にとってどんな意味があったのかをしっかりと振り返れるようにしました。

ポイント

2

自ら問いをもち 探求する

...

自ら問いをもち、その問いを探求する姿勢を育めるような工夫をしました。学年の最初に問いをもつ大切さを意識させ、自分の中に芽生えた疑問を問いの形にできるような場を設けました。3学期には、問い合うことによって考えを深め、物事の本質を探求する教材を配しました。

ポイント

3

人権に対する 感性を育む

...

よりよい未来に向かって多様な人々と共に生きていくためには、人権に対する感性を磨く必要があります。道徳科として人権に対する知識と考え方を学び、生徒一人一人の感性を高められるよう、人権のユニットを設けました。

ポイント 1 主体的な学び手を育てる—見通す・振り返る

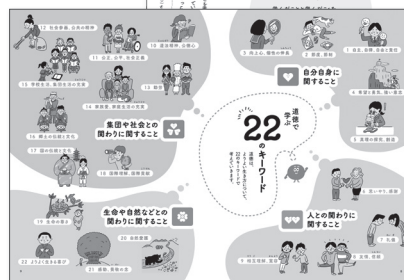
第1教材「①道徳の学習を始めよう」

何を学ぶのかを意識する

- ・道徳科を学ぶ心構えをつくれるよう、三つのポイントを示しました。答えが一つではない問いについて考えていくために、自分と、そして他者と向き合うことを促しています。また、学んだことをさまざまなことに結び付けるように呼びかけました。
- ・これからの1年間、どんなことを学んでいきたいか、自分なりの目標を立てることを呼びかけます。
- ・22の内容項目を、イラストと共に紹介。各教材冒頭にも内容項目を明示することで、その教材で何について考えるのかを自覚できます。



p.6-7



p.8-9

多様な学びを意識できるユニット構成

ゆるやかなテーマで学びをつなぐ

- ・教材一つ一つを独立させるのではなく、幾つかの教材が関わりながらテーマに向かって考えられるように、ユニットを構成しました。よりよく生きることについて、さまざまな観点でアプローチできます。

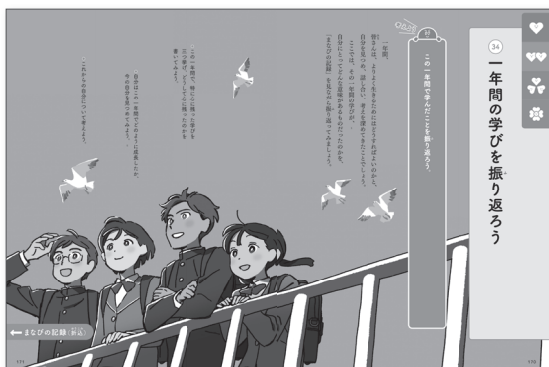


p.10-11

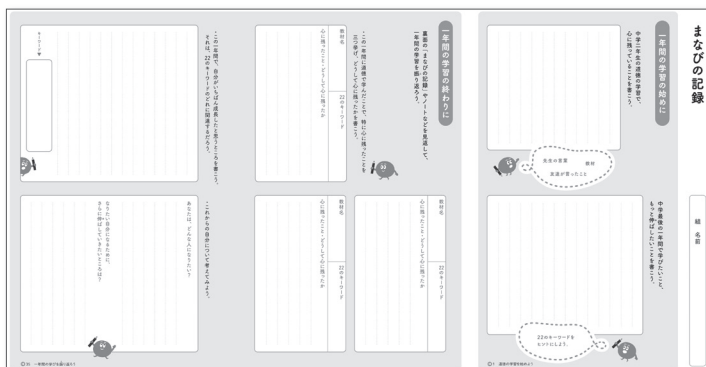
最終教材「③4一年間の学びを振り返ろう」と折込「まなびの記録」

振り返ることで、学んだことの価値を実感する

- ・最終教材「③4一年間の学びを振り返ろう」では、第1教材で初めに立てた目標を思い出し、道徳の学びが自分にとってどのような価値があるものだったかを振り返ります。その際、巻末の折込「まなびの記録」に書き溜めてきた一言感想を見渡しなが、1年間の自分の成長を見つめます。



p.170-173「③4一年間の学びを振り返ろう」



折込「まなびの記録」

ポイント 2 自ら問いをもち探求する

✓ 道徳で大切にしたいこと 問うことの大切さを意識する

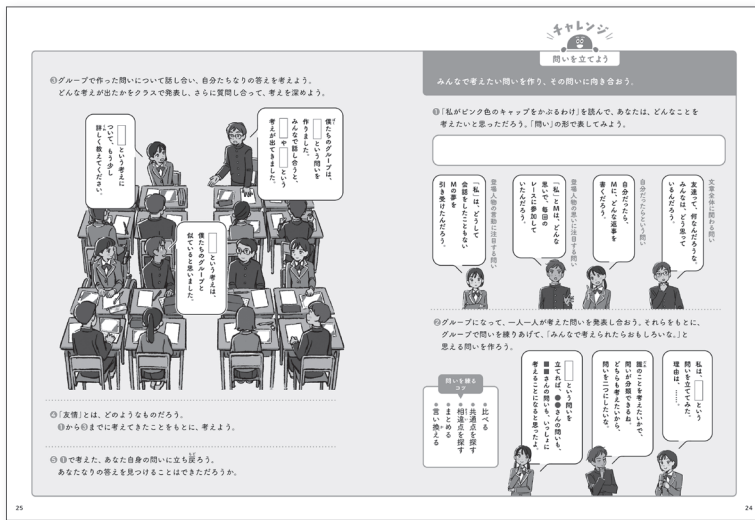
- 第2教材では、「道徳で大切にしたいこと」として、「問う」ことから道徳科の学習を整理しました。「自分に問う」「友達と問う」「生き方を問う」とし、自ら問いをもち、その答えを探求する姿勢を意識させます。



p.15「道徳で大切にしたいこと」

✓ 「問い」を立てて考える みんなで考えるに足る問いをつくる

- 生徒自らが問いを立て、考えを深められるようにしました。生徒が自分の事として問いをもちやすい「友情、信頼」の教材に、通常でびきに加えて、問いを立てて取り組む学習活動の手順を示した「チャレンジ 問いを立てよう」というページを用意しました。どちらかのでびきを選んで取り組むことが可能です。

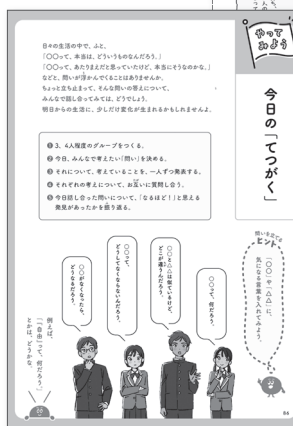


p.24-25「チャレンジ 問いを立てよう」

✓ 「問い合う」ことを楽しむ 自ら立てた問いの答えを探求する

- 大人でも悩んでしまう哲学的な問いを掲げている「なんだろう なんだろう」に続けて、「やってみよう 今日の『てつがく』」を設けました。自分の中から生まれる答えのない問いについて、考えをもち寄り、みんなで答えを創り出すことを促します。朝学習の時間などを活用し、普段から問い合うことを呼びかけています。
- 3学期には、「㉔『学び』の本質を探ろう」という哲学的な対話に取り組む教材を配しました。お互いの考えを深く掘り下げ、問い合いながら「これなら納得できる」という共通理解を見だし、他者と共に新たな価値を生み出す活動です。

p.86
「やってみよう
今日の『てつがく』」



p.160-163
「㉔『学び』の本質を探ろう」

p.84-85「なんだろう なんだろう」



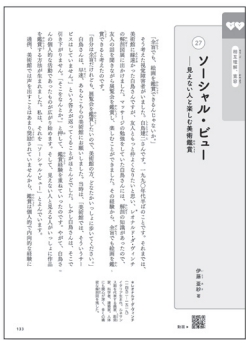
ポイント 3 人権に対する感性を育む

「共に生きるために大切なこと」を考える

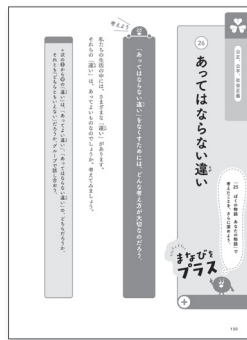
「人権」について考えを深めるユニット

道徳科として人権に対する知識と考え方を学び、生徒一人一人の感性を高められるよう、人権のユニットを設けました。

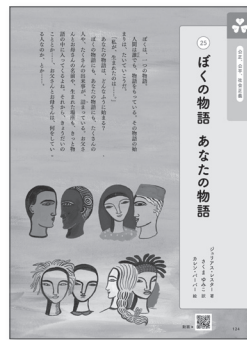
教材③ 教材② 教材① とびら



p.133-137
「㉞ソーシャル・ビュー」



p.130-132
「㉞あつてはならない違い」

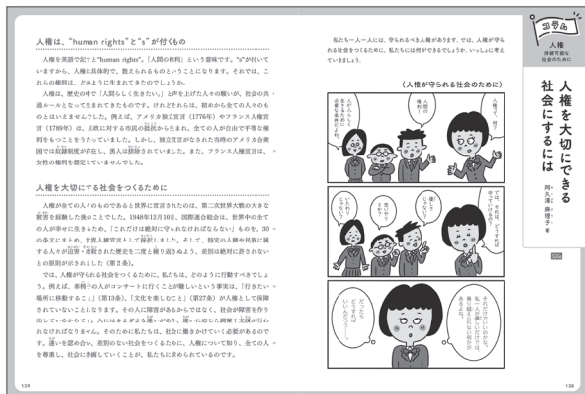


p.124-129
「㉞ばく物語 あなたの物語」



p.123
「共に生きるために大切なことは？」

人権について学習するユニットであることを意識させます。



p.138-139「コラム人権 人権を大切にできる社会にするには」

コラム

・3年のコラム「人権を大切にできる社会にするには」では、人権を守るために何ができるのかについて解説しています。1年では「人権とは何か」、2年では「私たちが抱えているさまざまな人権の問題」について考えてきています。

二次元コードコンテンツでは「世界人権宣言」や「子どもの権利条約」等の全文を見ることができます。

2. 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

全ての生徒に使いやすい、わかりやすい教科書を目指して

特別支援教育への配慮

・教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

人権上の配慮

・人権教育の専門家による全面的な校閲をお願いし、教科書全体において、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別の偏りがないようにしました。また、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、記述には十分配慮しています。

学習上の配慮

[文章の区切りについて]

・てびきの問いは、意味のまとまりで改行することで、生徒が問われていることの意味をつかみやすくなりました。

[「個別最適な学び」を実現するために]

・一人一人の生徒の特性に合わせて教科書をカスタマイズできるよう、文字の大きさを変更できる機能や、全ての漢字に振り仮名を表示する機能、白黒反転機能、機械読み上げ機能等を搭載した学習者用デジタル教科書を準備しました。

▶ 3. 対照表

[第3学年]

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁
巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった生徒へのメッセージを掲載した。	第一号、第二号	表2-1
1 道徳の学習を始めよう	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うために、道徳を学ぶ意義を考えるとともに、疑問を追究していく態度や他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの大切さを感じるようなページを設けた。	第一号、第二号	6-11
道徳で大切にしたいこと			15
3 「こち亀」は、四十年間休みなし			16-20
15 サグラダ・ファミリアー受け継がれていく思い	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	76-79
19 家族って? 家庭って?			94-97
〈やってみよう〉自分を受け入れるために			34-35
〈コラム〉防災 自然災害と向き合う			102-103
28 鉄腕アトムをつくりたいー人工知能研究は人間探究			140-144
32 「学び」の本質を探ろう	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	160-163
なんだろう なんだろう			84-85
〈やってみよう〉今日の「てつがく」			86
2 がんばれ おまえ			12-14
13 自分を輝かせるには	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	66-71
23 足袋の季節			113-116
24 希望のカレンダー			117-122
31 私の再出発			156-159
4 私がピンク色のキャップをかぶるわけ			21-25
5 礼儀正しさとは	他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	26-29
8 三年目の「ごめんね」			40-44
18 インターネットの中の社会で			91-93
〈付録〉手品師			174-177
14 働く姿から見えるのは?	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号、第三号	72-75
17 漫画泥棒			87-90
22 一票を投じるこの意味			108-112
〈付録〉二通の手紙			178-183
7 小さな出来事			36-39
9 アイツとオレ			45-50
10 私たちの合唱祭			51-55
11 言葉が見つからないとき			56-59
25 ぼくの物語 あなたの物語	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号	124-129
26 あってはならない違い			130-132
27 ソーシャルビューー—見えない人と楽しむ美術鑑賞			133-137
29 恩讐の彼方に			145-150
〈とびら〉共に生きるために大切なことは?			123
〈コラム〉人権 人権を大切にできる社会にするには			138-139
6 「リクエスト食」に込められた思い			30-33
12 タコをたどって見えるもの	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第四号	60-63
16 「きみは赤ちゃん」より			80-83
33 命と向き合う			164-169
〈コラム〉環境 地球システムと共に			64-65
20 好いとっちゃん、博多	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	98-101
21 障子あかり			104-107
30 希望の義足			151-155
〈付録〉日本の先駆者たち	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばそうとする態度を養うことができる内容を付録として設けた。	第一号、第二号	184-187
34 一年間の学びを振り返ろう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、自主及び自律の精神を養うことができるよう、学習した道徳的価値やそれに関連した自分自身のことを振り返ることのできるページを設けた。	第一号、第二号	170-173
まなびの記録	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返る書き込み欄があるページを設けた。	第二号	折込

編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-44	中学校	道徳科	道徳	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 038-92	中学道徳 3	きみが いちばん ひかるとき	

▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1 よりよく生きるための素地を養う1年間

教材と教材のつながりや、道徳の学びと生徒の生活のつながりを意識し、授業で考えたことが生徒のよりよい生き方に結びつく教科書を目指しました。

第34教材では、1年間の学びを見渡し、自分の成長を実感するための振り返りの時間を確保
(教育基本法との対照表p.2参照)

環境や防災、人権などの**持続可能な開発目標(SDGs)**につながるコラム
(教育基本法との対照表p.4参照)

考えたことを、活動を通してさらに深める
まなびをプラス
(年間3か所)

体験的な学習で、実感を伴って考えを深める
チャレンジ
演じて考えよう

自ら立てた「問い」に取り組む
チャレンジ
問いを立てよう
(教育基本法との対照表p.3参照)

第1教材は、1年間の学びの見通しをもつためのオリエンテーション
(教育基本法との対照表p.2参照)

34 一年間の学びを振り返ろう
命と向き合う

33 命と向き合う

32 命と向き合う

31 命と向き合う

30 命と向き合う

29 命と向き合う

28 命と向き合う

後期

27 命と向き合う

26 命と向き合う

25 命と向き合う

24 命と向き合う

23 命と向き合う

22 命と向き合う

21 命と向き合う

20 命と向き合う

19 命と向き合う

18 命と向き合う

17 命と向き合う

2学期 (15時間)

16 命と向き合う

15 命と向き合う

14 命と向き合う

13 命と向き合う

12 命と向き合う

11 命と向き合う

10 命と向き合う

9 命と向き合う

8 命と向き合う

7 命と向き合う

6 命と向き合う

5 命と向き合う

4 命と向き合う

3 命と向き合う

2 命と向き合う

1 命と向き合う

前期

1 命と向き合う

2 命と向き合う

3 命と向き合う

4 命と向き合う

5 命と向き合う

6 命と向き合う

7 命と向き合う

8 命と向き合う

9 命と向き合う

10 命と向き合う

11 命と向き合う

12 命と向き合う

13 命と向き合う

14 命と向き合う

15 命と向き合う

16 命と向き合う

1学期 (12時間)

17 命と向き合う

18 命と向き合う

19 命と向き合う

20 命と向き合う

21 命と向き合う

22 命と向き合う

23 命と向き合う

24 命と向き合う

25 命と向き合う

26 命と向き合う

27 命と向き合う

28 命と向き合う

29 命と向き合う

30 命と向き合う

31 命と向き合う

32 命と向き合う

33 命と向き合う

34 命と向き合う

3 1年間の学びを一望できる書き込みシート **まなびの記録**
(教育基本法との対照表p.2参照)

小学校の定番教材で学び直しができる

SDGsや他教科等との関連がわかるマーク
(各教材末に掲載)

生徒の発達の段階に合わせた**ユニット**で構成

3年 目次

本書は、テーマをもった、ユニットに分かれています。

特色 2 授業の流れがつかみやすい紙面構成

誰もが教材を共通の土台にして考え、しっかりと話し合えるよう配慮しました。

紙面にゆとりがあり、机の上で取まりがよい、**B5変型判**

本時の学びのキーワードを確認できるよう、内容項目のタグを明示

形と色で判別できる視点マーク

本文は、**UDフォント**を使用

② **がんばれ おまえ**

著作者を明示

p.12-14 「②がんばれ おまえ」

朗読、資料、動画など、生徒の学習意欲を高める**デジタルコンテンツ**

著者 重松清香
イラストレーター ミコヤマコト

中学校学習漢字に振り仮名を付し、読みの負担を軽減

二次元コード

1時間の学びの流れが見通せるてびき

考えよう（学びのテーマ）

生徒が、教材を通して何を学ぶのか、学びのテーマをはっきりと意識することができるようにしました。そして、学びのテーマに迫るため、次のような二つの問いを設定しました。

- ① 道徳的な問題を明らかにする問い（課題の設定）
- ② 道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い（中心となる発問）

また、最後にもう一度、「考えよう」に掲げた学びのテーマに戻ることで、本時のまとめができるようになっていきます。



見方を変えて

生徒が、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう、「考えよう」とは切り口を変えた問いを設けました。

つなげよう

教材の特質に合わせて、他教科や日常生活、他教材とつなげたり、さらに深めたいテーマへとつなげたりすることを意識した呼びかけを、示しています。道徳の学びが1時間の授業で終わってしまうのではなく、そこからさらに深く考えたり、行動につなげたりできるよう工夫しました。

● 読み物を通して考えたことを、活動を通してさらに深めていく教材を用意しました。

年間に3か所設けられた**まなびをプラス**。前の時間に教材を読んで考えたことを、次の時間には活動を通して深めたり、違う角度から迫ったりすることで、実感を伴った学びに高めます。

⑧ いじめ問題

「⑧三年目の『ごめんね』」で誠実に行動することについて考えた後、**まなびをプラス**の「⑨アイツとオレ」では、別の角度からいじめについての考えを深めていきます。**いじめを許さない心について考えるユニット**に組み込まれています。



p.40-43 「⑧三年目の『ごめんね』」

p.45-50「⑨アイツとオレ」

⑩ 情報モラル

他者の権利を守ることを考えた後に、インターネットで人々がつながる社会を生きることについて、**情報モラル**についての考えを深めます。



p.87-90 「⑩漫画泥棒」

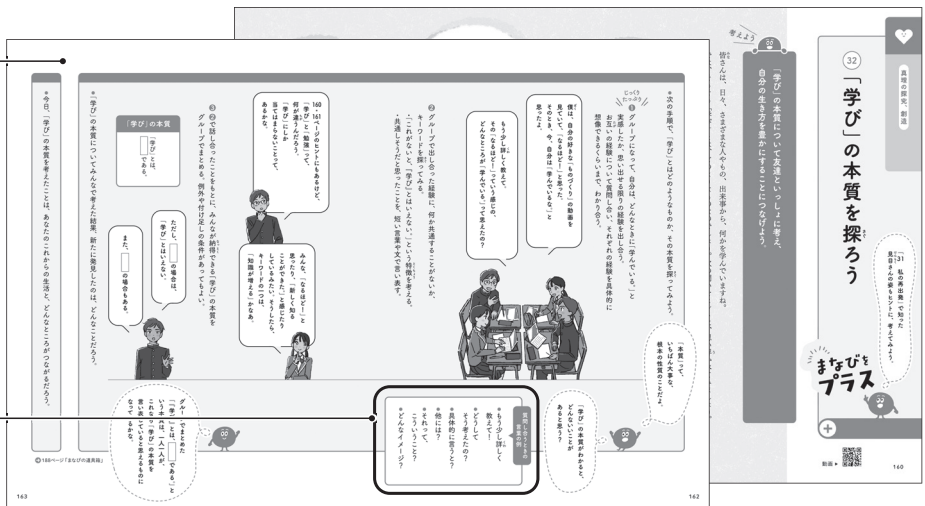
p.91-93「⑩インターネットの中の社会で」

⑳ 物事の本質に迫る

話し合いを通して、「学び」の本質に迫っていきます。前の時間に「㉑私の再出発」で考えたことを広げる活動です。考えを深めていくためのヒントも豊富に示しました。

質問し合おう！

- もう少し詳しく教えて！
- どうしてそう考えたの？
- 具体的に言うとう？
- 他には？
- それって、こういうこと？
- どんなイメージ？



p.160-163 「㉑「学び」の本質を探ろう」

▶ 2. 対照表

[第 3 学年]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				内容項目	該当頁	配当時数	配当学期
	視点*							
	A	B	C	D				
巻頭詩						表2-1		
最上級生として、行動していくためには？	1 道徳の学習を始めよう	○	○	○	○	内容項目を限定しない	6-11	1
	2 がんばれ おまえ	○				向上心、個性の伸長	12-14	1
	道徳で大切にしたいこと	○	○	○	○	内容項目を限定しない	15	
	3 「ごち亀」は、四十年間休みなし	○				節度、節制	16-20	1
	4 私がピンク色のキャップをかぶるわけ		○			友情、信頼	21-25	1
	5 礼儀正しさとは		○			礼儀	26-29	1
いじめを許さない心について考える	6 「リクエスト食」に込められた思い				○	生命の尊さ	30-33	1
	〈やってみよう〉自分を受け入れるために	○				向上心、個性の伸長	34-35	
	7 小さな出来事			○		公正、公平、社会正義	36-39	1
関わりながら生きていくためには？	8 三年目の「ごめんね」	○				自主、自律、自由と責任	40-44	1
	9 〈まなびをプラス〉アイツとオレ		○			相互理解、寛容	45-50	1
	10 私たちの合唱祭			○		よりよい学校生活、集団生活の充実	51-55	1
自分の未来を思い描くとは？	11 言葉が見つからないとき		○			思いやり、感謝	56-59	1
	12 タコをたどって見えるもの				○	自然愛護	60-63	1
	〈コラム〉地球システムと共に				○	自然愛護	64-65	
情報モラルについて考える	〈まなびの準備〉自分を輝かせる言葉を探してみよう	○				向上心、個性の伸長	66	
	13 自分を輝かせるには						67-71	1
	14 働く姿から見えるのは？			○		勤労	72-75	1
	15 サグラダ・ファミリア——受け継がれていく思い				○	感動、畏敬の念	76-79	1
	16 「きみは赤ちゃん」より				○	生命の尊さ	80-83	1
よりよい社会をつくるために大切なこととは？	なんだろう なんだろう	○				自主、自律、自由と責任	84-85	
	〈やってみよう〉今日の「てがつく」	○	○	○	○	内容項目を限定しない	86	
	17 漫画泥棒			○		遵法精神、公德心	87-90	1
共に生きるために大切なこととは？	18 〈まなびをプラス〉インターネットの中の社会で	○				自主、自律、自由と責任	91-93	1
	19 家族って？ 家庭って？			○		家族愛、家庭生活の充実	94-97	1
	20 好いとっちゃん、博多			○		郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	98-101	1
	〈コラム〉自然災害と向き合う	○		○		節度、節制／郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	102-103	
	21 障子あかり			○		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	104-107	1
	22 一票を投じることの意味			○		社会参画、公共の精神	108-112	1
	23 足袋の季節				○	よりよく生きる喜び	113-116	1
人として、よりよく生きていくためには？	24 希望のカレンダー	○				希望と勇気、克己と強い意志	117-122	1
	25 多くの物語 あなたの物語			○		公正、公平、社会正義	124-129	1
	26 〈まなびをプラス〉あってはならない違い			○		公正、公平、社会正義	130-132	1
	27 ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞		○			相互理解、寛容	133-137	1
新しい進路へ羽ばたこう	〈コラム〉人権を大切にできる社会にするためには			○		遵法精神、公德心／公正、公平、社会正義	138-139	
	28 鉄腕アトムをつくりたい——人工知能研究は人間探究	○				真理の探究、創造	140-144	1
	29 恩讐の彼方に		○		○	相互理解、寛容／よりよく生きる喜び	145-150	2
	30 希望の義足			○		国際理解、国際貢献	151-155	1
〈付録〉	31 私の再出発	○				希望と勇気、克己と強い意志	156-159	1
	32 「学び」の本質を探ろう	○				真理の探究、創造	160-163	1
	33 命と向き合う				○	生命の尊さ	164-169	1
	34 一年間の学びを振り返ろう	○	○	○	○	内容項目を限定しない	170-173	1
〈付録〉	〈付録〉手品師	○				自主、自律、自由と責任	174-177	
	〈付録〉二通の手紙			○		遵法精神、公德心	178-183	
	〈付録〉日本の先駆者たち	○				希望と勇気、克己と強い意志／真理の探究、創造	184-187	
	〈付録〉まなびの道具箱	○	○	○	○	内容項目を限定しない	188-189	
						合計時数		35

※ 視点の内容 A：主として自分自身に関する事 B：主として人との関わりに関する事 C：主として集団や社会との関わりに関する事 D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事